

新年の

あいさつ

田代町長

門前信好



明けまして御目出度うございます。町民の皆様、御元気で良い年をお迎えのことと存じます。

昨年は農作物も豊作で価格も上昇し、肉用牛の価格のみが低迷致しておりますが、いずれ価格の引上げも行なわれると思えます。この十二月の子牛については子牛価格安定基金協会から

の引当金が、充当されるものと思われれます。

ブローラー事業も一年間を経て、ようやく軌道に乗ったようであります。たばこはついても収納代金の引上げにより、四十四名の耕作農家で一億一千八百八万円を獲得することができました。最高は近川兼盛氏の六百二十万円、五百万円

台が三名と非常に良い成績をあげました。世界的食糧危機がとなえられはじめて外国からの葉たばこの輸入が困難になってきましたので、必然的に増産のために価格の引上げは、毎年、毎年、労働賃金の引上げと並行して行なわれるものと思われれます。

たばこに限らず、食糧危機がいわれはじめて、外国

の農産物が国内産より高くなってきましたので、国内の農産物価格の引上げは必ず行なわれるものと思われれます。

現在、本町の畑が推定約百町歩位荒れておりますがこのさい、開墾を行ない増産を計らなければならぬと思います。

幸いにして最近若者が町内に多くなってきましたが中でも特に緑豊会に加入している者が四十六名もおり養蚕、茶、肉用牛、たばこ等の各部門に分れて頑張っております。今後の営農指導は、個々の農家指導よりこのような集団の指導が最も効果をもたらし、お互い

も競争心も出てきますので後継者育成についてはこの緑豊会を重点に指導して行きたいと思えます。若者はなるべく全員が入会されるよう希望しております。

壮年の皆様は、各部門別に振興会を造っておりますので、これら振興会に加入されることを希望致しております。現在まで行なわれている農業のみ、新しい部門の開発も計りたいと思役場職員に現在、検討されておりますのでいづれ発表することができると思いま

ます。

経済面で農業だけではやっていけない兼業農家として行きたい人々も多いのでありますが、現在、大島紬を取り入れておられる家庭も多いのですが、この振興も計りたいと思えます。また県で近く、志布志湾開発の二次試案が発表される見込みであります。したがって、本町より通勤可能な方向に努力しなければならぬと思ひ広域農道として、郡内協力し佐多より田代を経て吾平、高山、東串良の通ずる巾着七メートの道路を作ることに今後努力し、田代からの通勤が可能になるように致したいと思ひます。

福祉面では、昨年十月より独居老人に週一回、南松園で昼食を支給し風呂には入り、ゆっくり話合いをしていただくように致しました。今後、更に色々と福祉関係の向上を計りたいと思ひます。

学校教育の面では、特に南大隅高校田代分校の教育内容の充実を計りたいと思っております。更に大原中学校は、関係住民の了解が得られれば田代中との統合を行ないたいと思ひますが

現在のところその時期でないようでありますので、五十年年度又は五十一年年度には三ないし四教室を、永久建物にしたいと考えております。

道路問題については、各部落、なるべく早く舗装工事を一本ずつはつきたいと思ひますが、町道で現在約二十名の舗装率でありますので、この五年間に五十%は完成したいと思っております。

電話問題は、三月までに土地(交換所)買収を終り五十一年度に建物を作り、五十一年に自動化の見通しがありましたので、最善をつくしたいと思ひます。

就任以来、初めての挨拶でありますので長くなりましたが、政見の一端を申述べました。町民の皆様、本年度も町民のみなさまのために良い年でありますよう御祈りして、年頭の挨拶といたします。

一月のこよみ

3日 成人式
9日 出初式



年頭所感

麓駐在所

西田 正見

あけましておめでとうございます。昨年中はいろいろ事件、事故等多発しまして町民の皆様は大変迷惑をおかけした一年でございました。

今年こそは、何事もない平和な一年でありたいものと年頭にあたり、決意を新たにしております。

1.悲惨と不幸を招く交通事故故から県民を守ろう。2.盗犯検挙に力を注ぎ県民の財産を守ろう。3.県民と一体

となって暴力犯罪を絶滅しよう。4.県民の生活環境を害する犯罪の取締りを強めよう。5.少年の非行を防止し、健全育成に努めよう。

昨年は以上五点に県警の重点を注いで参りました。今年もこれ等のことを更に推進したいと思っております。

何卒皆様方の絶大な御協力をお願いいたします。更に今年は麓と川原の駐在所を一ヶ所にまとめ複数駐在所として新しく発足することになる予定でございます。町内の警察管を一ヶ所に集め、より効果的により

機動性をもった警察活動が目的でございます。

皆様方の心からの御理解を得たいと思っております。平和で明るい年でありますよう希念して年頭のあいさついたします。

おとそ

おとそというのは、中国から伝えられた薬酒です。

とそという名称は、「邪氣をはふり、魂をよみがえらせる」という意味だといわれています。

昔、中国の名医が、年間の無病息災を祈り、厄よけのため、サンショ、ニッケ、ハクシュ、キキョウ等十数種の薬草を調合し、酒に浸して飲んだのが始まりとされています。日本に伝えられたのは平安時代の初めといわれています。

現在市販されている「とそ散」は、これらの薬草を三角形に縫った紅絹の袋に入れたもので、これを酒やみりんに浸して飲むようにしてあります。

人口のうごき

49, 12, 1現在

世帯数	1,516
男	2,261
女	2,626
総計	4,887

五年年金の裁定がはじまります

該当者は早目に手続を!!

昭和50年1月から待望の五年年金の裁定がはじまります。

5年年金は、定められた保険料納付期間と、年令が65歳に達していることが必要ですが、これらの条件を満たしていても、自動的に年金を受けるためには、役場の民生課に、「国民年金手帳」と「裁定請求書」を提出して、年金を受ける権利があるかどうかを確認してもらう必要があります。

5年年金を受ける資格があるとお考えの方は、早目に民生課へお問い合わせください。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

あとがき

昨年は「虎」の年で、荒れ模様の年ではないかと言われていたが、予想に違わず石油ショックによるインフレの猛威、内閣の交代等激動のあけくれに終りました。

本年は、うさぎ年で私共のイメージに浮かぶのは「おとなしい」年ですが、そのように平和な年であって貰いたいものです。

